



日野町

花の郷・日野ダリア園

地域のシルバー世代が人気の花の名所を創り出す。 休耕田が華やかに衣替え。



左上「モミジ」 上中央「モスクワの冬」 右上4月～5月が見ごろの芍薬 左下4月～6月、9月～10月が見ごろのクレマチス 下中央「湖畔の宿」 右下「クライズ・チョイス」

「近江日野商人と花のまち」を掲げる蒲生郡日野町。
天然記念物「鎌掛谷ホンシャクナゲ群落」「藤の寺 正法寺」「さつき寺 雲迎寺」などに、旬の花を求める多くの観光客が訪れる。鎌掛地区の「日野ダリア園」もそんな花の名所の一つ。
地元のシルバー世代がボランティアで運営し、年間2万5千人以上を集客する人気スポットだ。

艶やかなダリアの花園に 各地から来園

最初に、日野ダリア園がどんなところか、概要を教えてくださいませんか？

広さ1万2千平方メートルの園内に、8～10月には、150種1万2千本以上のダリア、4～6月および9～10月には70種のクレマチス、4～5月には牡丹や芍薬が咲き誇ります。

花の直径が30センチ以上の超巨大輪や、「モスクワの冬」「湖畔の宿」といったユニークなネーミングのダリアなど、一般にはなかなか見られない珍しい品種を揃え、全国で20ほどあるダリア園の中でもトップクラスの規模と種類の豊富さを誇っています。花の配置は毎年変えるので、何度来ても違った景色を楽しんでいただけます。

来園者はどんな方が多いのですか？

2002年の開園以来、来園者は年々増え、現在は年間2万5千人以上の方々にお越しいただくようになりました。県内はもとより近畿一円、遠方では愛知、静岡などからもよく来られます。半数以上は観光バスで来園される団体のお客さまです。当園の他に、正法寺の藤、雲迎寺のさつき、鎌掛谷ホンシャクナゲ群落など、日野町の花の名所を巡る日帰りツアーなどを利用される

方が多くなっています。

大きいカメラを抱えた写真愛好家もグループでよく来られます。かと思えば、園内に設置したベンチで休憩しながら、1日中のんびり過ごされる方もいます。花だけでなく、鎌掛の自然や雰囲気も堪能されているようです。リピーターも多く、年間パスポートも用意しています。

還暦を迎えた地元同級生による 生きがいづくりと地域への恩返し

—そもそも、どういう経緯で開園されることになったのですか？

地元小学校の同級生15人ぐらいが、2000年に還暦を迎えたのを機に、老後の生きがいづくりと地域への恩返しを兼ねて、ダリアを植えたのが始まりです。当初はここではなく、平谷宗夫・前理事長が所有する3千平方メートルほどの休耕田でした。それを見て、私のように手伝わせてほしいと何人かが仲間に加わりました。

02年には、現在の場所に移転、NPO法人日野ダリア園を設立し、組織として運営に当たることになりました。

「花を見て怒る人はおらんだろうと簡単な思いつきで始めたのが、いつの間にか大きくなってしまった」と平谷前理事長は言っていました。

この地域では高齢化や後継者不足、

獣害などの問題で耕作放棄地が増えていて、地主さんからは水利などの保守が

すれば自由に使うことができたという条件で、休耕田を借りることができました。水はけをよくするために暗渠排水を設ける大掛かりな工事が必要でしたが、重機を使って自分たちで完成させました。

そして、03年には最新の高設ベンチ式養液栽培システムを導入していちごのハウス栽培を、08年には牡丹・芍薬苑を始めました。来園者が喜んでくださるのがうれしくて、他にもバラを育てたり、果樹を植えたり、芋掘り大会などを実施しました。

ボランティアで作業を分担 毎年、見所を増やし魅力をアップ

—花の手入れなどの作業も、NPO法人の会員の皆さんがされているのですか？

脇芽や不要な蕾を摘み取る、倒れないように支柱を添えるなど、ダリアの世話がこんなに手間がかかるとは思っていませんでした。花が終わった後も全部掘り起こし、芽の出るものだけ切り分ける作業があります。翌年の植え付けまで保管しておく必要があるのです。今年は6月に1600株植え付けました。毎年、珍しい品種を探して、新たに加え種類を増やしています。こうした花の

手入れはもちろん、園内の維持管理、宣伝、観光バスを手配する旅行代理店との調整などすべて、基本的にNPO法人の会員だけで分担してやってきました。

会員は現在17名。ほとんどが地元鎌掛地区の住民ですが、レイカディア大学で園芸を学び、他地域から入会された方もいます。さすがに、近年は会員だけでは手が回らず、他にお願いで剪定作業などをお手伝いしていただいています。依頼した方には報酬をお支払いしていますが、会員はあくまで無償。ボランティアで運営を支えています。

70歳が最年少 課題は「後継者の確保」

—休耕田の活用、観光客の集客、花のまち日野町のイメージアップ、仕事の創出など、さまざまな地域貢献をされてきたことがわかりました。今後の展望を教えてください。



豊かな自然に囲まれた場所に花々が咲き誇る

NPO法人日野ダリア園

- 開園期間：1月5日～12月28日まで
※ 開花期は、ホームページ等でご確認ください。
- 営業時間：午前9時～午後4時
- 休園日：火曜日(祝日は除く、開花期は無休)
- 入場料(維持協力金)：中学生以上500円、小学生200円、障がい者300円
- ▶ 滋賀県蒲生郡日野町鎌掛2198-1
TEL 0748-52-5651
http://hinodariaen.com



理事長
野崎 清一氏
(のざき・せいいち)

会員にとって目的の一つであった、最後の生きがいづくりは十分果たせました。今の課題は、私たちに代わってダリア園を続けていく後継者をどうするかです。会員もみんな歳をとって、70歳の私が一番年下です。新しく手伝いたいという方はいつでも大歓迎です。次の世代に参加してもらうためには、いつまでも無償で良いのかということも、検討しなければならぬでしょう。今は世代交代の難しい時期を迎えていると思っています。